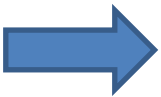


天王寺区 将来ビジョン(区長素案) 説明用レジメ

(天王寺区長:水谷 翔太)

(区の概況・特性)	①区内人口の5割近くが40歳未満で子ども・子育て世代が多い。 ②65歳以上高齢者の4割が独居世帯。 ③上町断層帯地震で、屋間の死亡率が市内2位、家屋の全半壊率が同4位と想定。 ④神社仏閣が約200存在するなど歴史的文化的資産が集積。
(課題)	【地域の課題】①未来を担う人材の育成 ②高齢者地域福祉の強化 ③「災害対策リテラシー」の強化 ④戦略的なシティ・プロモーション 【区政の課題】①区民の声集約プロセスの強化 ②行政の可能性を広げるための「挑戦」



(平成28年度にめざすべき将来像) 天王寺区2. 0～新しい区政運営のための骨太の方針～ ・みんなの「思い」が区政に反映されているまち ・未来を担う人材が育成されているまち ～日本一文教地区の実現～ ・「命を守る政策」がしっかりと進められているまち ・歴史的・文化的資産を活かして多くの人が集いにぎわうまち
--

分野	現状と課題 策定基準2(3)ア	27年度末を見据えた主な施策	Outcomeの目標達成に向けた工程
区民の 声集約 プロセスの 強化	(現状) ・区政会議は地域団体代表者を中心に構成され高齢者が多く、人口の46%を占める40歳未満の若年層等が区政に対し意見・評価を行う場が限定されている。 ・区民モニターも区政への関心が高い人が基本である。 (課題) ・性別・年齢・居住年数等において多様なサイレント・マジョリティの声を集約し、区政運営に反映させる仕組みが必要。	【戦略1】 区政会議を二分 ～区政有識者会議と区政戦略会議への再構築～ 【戦略2】 あなたの声をつなげ隊の活動展開 ・区政会議、区政評価員(区民モニター) で補足できないサイレント・マジョリティの声を18名の職員による戸別訪問により集約 (Outcome指標) 区民の声が区政に反映されていると感じる区民の割合 70%	25年度末までに ・集約した区民の声の次年度予算への着実な反映 26年度末までに ・評価・検証 25年度末までに ・対象世帯の戸別訪問達成率 70% 26年度末までに ・対象世帯の戸別訪問達成率 70%
	未来を 担う 人材の 育成	【戦略1】 中高生を対象とした「インターンシップ(職業体験)」プログラムを導入 ・社会で必要となるスキルを養うため、区内の店舗・工場・企業等で数ヶ月～1年単位のプログラムを導入。 ・企業・NPO法人と連携した「社会教育プログラム」(小中学生が社会の仕組みを学ぶ)も開発 (Outcome指標) プログラム利用者の満足度 70%	25年度末までに ・調査検討を踏まえ、環境が整ったものから順次提供 26年度末までに ・評価・検証
		【戦略2】…関連所属 こども青少年局 乳幼児(0～2歳児)の医療費自己負担額の償還などに使えるパウチャー制度の検討 (Outcome指標) 支援内容に満足する子育て世代の割合 70% 【戦略3】…関連所属 こども青少年局 子育て支援の促進 ・子育てに関する様々な悩みや不安に対して、個々にきめ細かな相談支援、情報提供を行う「子育てナビゲーション事業」を充実 ・保育所の誘致や個人実施型保育ママ事業などにより保育所待機児童を解消 (Outcome指標) ナビゲーション利用者の満足度 80% 保育所待機児童の解消	25年度末までに ・関係局との協議、制度設計 26年度末までに ・実施 25年度末までに ・子育てナビゲーションの充実と待機児童の解消 26年度末までに ・評価・検証
高齢者 地域福祉 の強化	(現状) ・65歳以上高齢者の4割が独居高齢者であり、急病時・災害時の孤立化が懸念される。 (課題) ・一部の地域住民で実施されている高齢者見守り体制を教育機関・企業・NPOなども巻き込み強化する必要がある。	【戦略1】…関連所属 福祉局 「独居高齢者等見守りサポーター」(仮称)制度を創設 ・近隣の大学生、地域の高校生、地域住民を中心に独居高齢者、高齢者のみ世帯の家庭訪問を行い、医療・介護等の課題への早期発見・早期対応を図る ・「あなたの声をつなげ隊」も個別対話活動のなかで「見守り」を行う (Outcome指標) 独居高齢者等の見守り体制が構築されていると感じる区民の割合 70%	25年度末までに ・制度創設、実施 26年度末までに ・評価・検証
		【戦略2】 福祉現場ニーズの集約 ・社会福祉協議会が設けている連絡会等を活用して介護サービス事業者等の現場ニーズを随時集約し、区役所、認定事務センターないし福祉局といった関係機関に届けていく。具体的には、事業者対象にアンケート調査等を行っていく。 (Outcome指標) 高齢者福祉現場のニーズが関係機関に届いていると感じる担当者の割合 70%	25年度末までに ・現場ニーズの集約 26年度末までに ・評価・検証

災害対策リテラシーの強化	(現状) 上町断層帯地震では区内に大きな被害が想定されている ・死者573名 (人口千人当たり 24区中第2位) ・全半壊家屋6,813棟 (建物数比率 24区中第4位) マンション住民が激増しているが、行政・地域と連携した災害対策が十分でない (課題) 区民一人ひとりの「災害対策リテラシー」の強化による徹底した自助力の向上が不可欠である	【戦略1】…関連所属 危機管理室 消防局 区民の意識向上策の強化 ・区役所が能動的に地域に出向き、区民の事情に即した「出前講座」を強化するなど、「区民巻き込みオペレーション」を展開 ・「災害対策まずはここから」(仮称)と題したA4 1枚程度のペーパーを全戸配布。 ・企業、消防、自衛隊など多様な災害対策アクター(主体)と連携し、「来てもらえる」訓練(イベント)を追求 EX. IT企業と連携したSNSサイトを使った防災訓練、自衛隊と連携した炊飯車、ヘリ実演 ・東日本大震災被災自治体と「災害対策パートナーシップ」(仮称)を締結し、被災地の状況を区民に伝え、災害対策リテラシーを涵養 (Outcome指標) 災害時の持ち出し品等の用意率 世帯数の50%	25年度末までに ・調査・検討を行ったうえ、順次実施 26年度末までに ・調査・検討を行ったうえ、順次実施
		【戦略2】 自助、共助の力を高める取組への支援 ・独居高齢者世帯、障がい者世帯等を対象に、委託事業者により「家具固定グッズ」取り付けを支援 ・マンション等集合住宅を対象に、「物資の備蓄拠点」を設ける取組を推進 ・防災を中心に「地域重要課題解決応援制度」(仮称)を設け、「斬新かつ優れた内容」の地域の取組に奨励金を交付 (Outcome指標) 家具の固定率 世帯数の50%	25年度末までに ・調査・検討を行ったうえ、順次実施 26年度末までに ・調査・検討を行ったうえ、順次実施
		【戦略3】…関連所属 危機管理室 収容避難場所の充実 ・「女性用避難スペース」の確保、「福祉避難所」の追加指定を推進 ・区民の意見に即した備蓄品の更なる充実 (Outcome指標) 収容避難所の場所を知っている区民の割合 70%	25年度末までに ・調整が整ったものから順次実施 26年度末までに ・調整が整ったものから順次実施
戦略的なモーション・プロ	(現状) 区内には、約200もの社寺や動物園・美術館など多くの歴史的・文化的資産が集積し、様々な伝統行事等が開催されているが、これらの情報を区内外へ効果的に発信できていない (課題) 区内の歴史的・文化的資産の効果的な情報発信を行い、天王寺区のまちのブランディングを強化する必要がある。	【戦略1】…関連所属 ゆとりとみどり振興局 大坂の陣400年記念事業の開催と戦略的的魅力発信事業の展開 ・「戦国博」(仮称)の開催 2015年 ・区民・企業からの事業アイデア募集、天王寺ファン倶楽部、キャンドルナイト… 【戦略2】 インバウンド観光推進戦略を立案・推進 ・企業と連携したギャップ調査、海外からのイメージ調査をベースにブランディングを強化 (Outcome指標) 歴史的・文化的資産の情報発信が十分にできていると感じる区民の割合 70%	25年度末までに ・事業アイデアの募集、魅力PR用ツールの制作 26年度末までに ・大坂冬の陣イベントの実施
行政の可能性を広げるための「挑戦」	(現状) ・新たな施策の展開のために新たな財源の確保が必要であるが、十分な取組がなされていない。また、地域のマンパワーを公共のために活用できていない。 ・庁舎の有効利用、来庁者の満足度向上の取組が十分にできていない。 (課題) 地域の資源(庁舎含む)を最大限活用した新たな財源の確保、地域のマンパワーの公共への活用、来場者の満足度向上の取組が必要である。	【戦略1】…関連所属 政策企画室 契約管財局 市民局 資金捻出・調達・外部人材資源の公共への活用に「革命」をおこす！ ・区民センターを「NPOフリーオフィス化」し区民センターの維持管理費を大幅削減 ・自治体特化型「クラウドファンディング」を導入し、不特定多数の人々から資金を確保 ・講堂での結婚式など、庁舎等の資産を活用した財源確保の取組を推進 ・区民の専門性を区政に活かす、プロボノ活用システムを導入 (Outcome) 新たな自主財源の確保1,000万円(但し、区民センターの維持管理費削減分を除く)	25年度末までに ・フリーオフィス化: 条例改正に向けた調査・検討、および改正を踏まえた公募の実施 ・クラウドファンディング・庁舎利活用: 調査・検討を行ったうえ、順次実施 26年度末までに ・フリーオフィス化: 4月より実施
		【戦略2】 快適に利用できる区役所の追求 ・「キッズスペースの確保」「天王寺 名品の展示」「入り口前カフェスペース」「水耕栽培システムの設置」 (Outcome指標) 来庁舎の満足度 70%	25年度末までに ・準備が整ったものから、順次実施 26年度末までに ・準備が整ったものから、順次実施
市政改革プランに基づく大きな公共を担う地域づくり	(現状) ・地域では様々な地域活動がなされているが、新しい住民や若い世代への広がりは十分でない。 ・それぞれの団体間の連携が十分でない。 (課題) ・団体間の連携と、新しい住民や若い世代も参画した、地域活動の活性化。 ・ヒト、モノ、カネの循環による自立化に向けた取組の推進。	【戦略1】 連合振興町会エリア単位での課題の共有と解決に向けた取組の支援 (Outcome指標) 市政改革プランアクションプラン編で示された成果指標	25年度末までに ・成果指標の達成に向けた各取組の推進 26年度末までに ・成果指標の達成に向けた各取組の推進
		【戦略2】 多様な協働による地域活動の活性化 (Outcome指標) 市政改革プランアクションプラン編で示された成果指標	25年度末までに ・成果指標の達成に向けた各取組の推進 26年度末までに ・成果指標の達成に向けた各取組の推進